

○14番（川又照雄議員） 14番川又照雄です。ただいま議長より発言のお許しをいただきましたので通告どおり一般質問をさせていただきます。

時代は平成から令和へ元号も変わり、令和元年が始まりました。令和新時代の今こそ当市にある課題の解消に向け、さらにより多くの市民との協働を求めつつ幸せを感じ暮らし続けたいと思うまちを目指して少しでもよい生活環境をつくり、次の若者世代に渡せるように市議会議員の1人として背私向公の精神で頑張りたいと思っております。

今回の一般質問は、当市も含めた地方全体を取り巻く山積する課題の中から産業振興、安全・安心なまちづくり、郷土を愛し未来を開く人づくりの3点について一般質問をいたします。

それでは、一般質問に入ります。

最初に、産業振興の道の駅ひたちおおたについて伺います。

誕生してから、今年7月21日という、先ほどの答弁もありましたように丸3年を迎えようとしております。私もたびたび訪れ、予想どおりのにぎわいに大変満足しております。現在道の駅は藤田議員の質問にもありましたように今年3月までに茨城県に13カ所、全国では1,154カ所オープンしております。目的は道路利用者へ対する安全で快適な道路交通環境の提供と地域の振興に寄与することです。基本コンセプトは24時間無料で利用できる駐車場、トイレの休憩機能、道路情報あるいは地域の観光情報や緊急医療情報などを提供できる情報発信機能、文化教養施設や観光レクリエーション施設などの地域振興施設の地域連携機能、それに防災時の防災機能であります。道の駅ひたちおおたもこのにぎわいに満足せず、次の一手、次の展開を考えなければなりません。

ここで1点目、オープン時より3年間の運営状況について利用客数、売上、現場の職員、パート数の推移についてをお尋ねいたします。

2点目は、今後の道の駅の展開を考える上で基本コンセプトの各機能の検証は重要であります。道の駅の基本コンセプトの検証についてお尋ねをいたします。

3点目は、この道の駅のさらなる魅力度アップを図るための今後の展開について、新たな差別化を提案することも重要です。今後の道の駅の展開についてお尋ねをいたします。

次に、安全・安心なまちづくりについてお尋ねいたします。

防犯カメラ設置について、今年度の予算に市立小中学校及び幼稚園に防犯カメラ設置2,365万3,000円が計上されました。

1点目として、この防犯カメラ設置の内容についてお尋ねをいたします。

2点目は、これまでに設置した防犯カメラ設置状況についてお尋ねをいたします。

3点目に、今後の防犯カメラ設置計画について、今後の展開についてお尋ねをいたします。

以上、3点よろしくお願ひ申し上げます。

最後に郷土を愛し未来を拓く人づくり、「生きる力」の育成についてお尋ねいたします。

これまでも重要な役割を果たしてきた地方教育行政、現在、常陸太田市においては少子化・人口減少対策を最重要課題として位置づけ、各種施策に取り組んでおります。学校教育においては「郷土を愛し未来を拓くひとづくり」を教育指針に掲げ、「生きる力」を確実に育む夢育を推進

していくとともに郷土への愛着や誇りを持ち、健やかに心豊かにたくましく育っていく子を育てていくとあります。これからの社会はグローバル化の進展や人口知能の飛躍的な進化など、ますます社会が加速的に変化し便利さがより追及されていくのは間違いなさそうであります。

そんな中で、先日教育長が寄稿された「便利さの中に忘れてはならないもの」と題した文章を拝見し、大変感動したところでもあります。私も常々便利さが当たり前になっている現代社会の中で希薄になっている人間関係など、一休みして生きていく上で大切なものを考える必要があると考えております。今の子どもたちはそんな大人のつくった便利な社会の中で、いろんな意味で体験不足のように思います。教育長のおっしゃる、見て、触れて、感じて、考えて行動することでさらに子どもたちの生きる力が育まれるのではないかと思います。

そこで1点目、今の子どもたちに求められている生きる力とはどのような力を指しているのかお伺いいたします。

2点目として、便利な世の中において体験活動の希薄化が問題とされている中で生きる力の育成の体験活動の充実をどのように図っていくのかについてお伺いをいたします。

以上で1回目の質問を終わります。ご答弁をよろしくお願い申し上げます。

○成井小太郎議長 答弁を求めます。農政部長。

〔根本勝則農政部長 登壇〕

○根本勝則農政部長 産業振興における道の駅ひたちおおたについて、3点のご質問にお答えいたします。

1点目のオープン時より3年間の運営状況についてのご質問でございますが、オープン時から本年3月末日までの入込客数につきましては、延べ約230万人、総売上額は約21億3,200万円となっております。

年度ごとのレジ通過者数と売上額でございますが、平成28年度につきましては、約8カ月間でレジ通過者数約70万人、売上額は6億2,200万円、平成29年度につきましては、レジ通過者数約81万1,000人、売上額は7億5,100万円、平成30年度につきましては、レジ通過者数約78万7,000人、売上額は7億5,700万円となっております。なお、オープン初年度を除く2年間の1月当たりのレジ通過者数は約6万6,000人、売上額は約6,200万円と推移をしております。

雇用につきましては、道の駅ひたちおおたの施設全体で平成28年度は社員等8人、パート等77人で計85人、平成29年度は社員等7人、パート等81人で計88人、平成30年度は社員等5人、パート等86人で計91人となっており、道の駅ができたことによりまして年間約90人程度の雇用がある状況でございます。

次に、2点目の道の駅の基本コンセプトの検証についてお答えいたします。

議員ご発言のとおり、国が示している道の駅の基本コンセプトは休憩機能、情報発信機能、地域連携機能、災害時の防災機能でございます。現在把握しているアンケート調査や道の駅利用者等からの声など約1,100件のデータをもとにそれぞれの施設機能を検証いたしますと、休憩機能である24時間無料で使えるトイレにつきましては、総じてとてもきれいなトイレであると評

価をいただいているところでございます。

駐車場につきましても、一台ごとのスペースも広く駐車しやすいとの評価をされております。

情報発信機能につきましては、総合案内所に市観光物産協会のコンシェルジュが配置され、道路情報や観光情報、施設情報等、年間約2万7,000件の案内業務を懇切丁寧な説明により好評を得ており、当道の駅の看板としての役割を十分果たしているものと認識をしているところでございます。

また、地域連携機能である直売所、加工所、フードコート、レストラン、コンビニエンスストア、体験ほ場などの地域振興施設につきましては、積極的に活用が図られている状況でございます。

災害時の防災機能に関しましては、道路利用者の一時避難所として非常用自家発電、貯水槽、災害用トイレ、給水タンク及び防災倉庫が施設内に設置されている状況でございます。

以上申し上げましたとおり、国の示す道の駅のコンセプトの機能としていずれも大きな課題ではなく3年を経過しようとしている現時点においては施設レイアウトの見直し等を行う予定はございませんが、今後においても重点道の駅としてより利便性の高い道の駅を目指し努力をしてみたいと考えております。

続きまして、3点目の今後の道の駅の展開についてお答えいたします。

常陸太田市の情報発信の拠点として常陸太田の野菜、農産物にこだわりを持った道の駅を目指してまいりたいと考えております。直売所においては地場産率を上げ、出荷者の所得を向上させるため年間を通して豊富に地場産の野菜がそろった状況を目指し、JA常陸、県農業改良普及センターと連携し生産者に対し売れ筋野菜の販売情報の提供、少量多品目野菜の栽培の促進、付加価値の高い野菜づくりを推進してまいります。

また、レストランや加工所、フードコートにおいては既存のメニュー及び商品の売上状況等の分析を行い、常陸太田市産の野菜、農産物を活用した新メニューやオリジナル商品の開発、季節に応じたメニューの提供等を強化してまいります。

トマトハウスにつきましては、年間を通して摘み取り体験ができる施設であり、他の道の駅とは差別化が図れる施設といたしまして安定生産と品質向上に努めてまいります。

その他観光案内所においては本市の情報発信の拠点として市内の自然や歴史、地域文化等に関するさまざまな観光交流施設や地域情報など、より有意義な情報が得られる道の駅となるよう総合的な情報提供の強化に努めてまいりたいと考えております。

本市といたしましては、このようなこだわりを持った道の駅を引き続き指定管理者及び市観光物産協会、県等の関係機関等と連携しホームページやSNS、マスコミやチラシ、ポスター等を効果的に活用した情報発信等による道の駅への集客と市内への誘客を促進する取り組みを強化し、施設の設置目的である農林畜産業の振興と交流人口の拡大による地域産業の振興と地域経済の好循環を生み出すことにつなげてまいりたいと考えております。

○成井小太郎議長 答弁を求めます。教育部長。

〔生天目忍教育部長 登壇〕

○生天目忍教育部長 安全・安心なまちづくりについて、防犯カメラ設置事業についてのうち市立小中学校及び幼稚園防犯カメラ設置事業の内容についてのご質問にお答えいたします。

小中学校及び幼稚園への防犯カメラの設置は、不審者の侵入等に対する抑止効果を高め、児童生徒及び園児の安全・安心を確保するために必要不可欠な設備であると考え、本年夏休み中に小中学校及び幼稚園に防犯カメラを設置いたします。

設置する設備及び場所につきましては、防犯カメラ2台、画像記録装置1台、モニター1台とし、カメラは玄関や昇降口及び園庭付近等に設置を予定しております。

なお、金砂郷中学は既に設置済みでありますとともに現在校舎建築中で、12月完成予定の水府小中学校につきましては、建築工事の中で整備を進めてまいります。

○成井小太郎議長 答弁を求めます。市民生活部長。

〔鈴木淳市民生活部長 登壇〕

○鈴木淳市民生活部長 防犯カメラ設置についての市民生活部関係の2点のご質問にお答えいたします。

初めに、これまでの防犯カメラ設置状況についてでございますが、市施設等への設置状況につきましては、録画機能を有するカメラが市役所本庁舎に4台、梅津会館に2台、金砂郷中学校に5台、すいふこども園に2台、JR常陸太田駅に4台、道の駅ひたちおおたに8台、竜神大吊橋に8台、録画機能を有しないライブカメラが総合福祉会館に4台、南消防署に3台、佐竹小学校に2台、瑞竜中学校に1台設置されております。

なお、金砂郷支所にも録画機能を有するカメラが2台設置されておりますが、機械警備の付属機器であるため、夜間の警備機器作動中のみの録画となっております。

また、茨城県警からの要請もあり太田警察署と設置場所について協議を重ね、太田駅前交差点、久米西交差点、松平交差点、折橋交差点など市内15カ所23台を昨年度設置し、市民の安心安全の確保に努めてきたところでございます。

次に、今後の防犯カメラ設置計画についてでございますが、本年度は先ほど教育部長が答弁いたしました、小中学校、幼稚園のほか保育園、認定こども園に新たに設置いたしますとともに道の駅ひたちおおたに2台増設を予定しております。今後も必要性があれば関係機関と協議をしながら検討してまいりたいと考えております。

○成井小太郎議長 答弁を求めます。教育長。

〔石川八千代教育長 登壇〕

○石川八千代教育長 郷土を愛し未来を拓くひとづくりについて、生きる力の育成について2点のご質問にお答えいたします。

1点目の今の子どもたちに求められている生きる力についてお答えいたします。

これからの社会はグローバル化の進展や人工知能の飛躍的な進化など加速度的に変化し、今後どのような社会になっていくのか予測するのが難しくなっていくことが考えられます。児童生徒一人ひとりが社会の変化に受け身で対応するのではなく主体的に向き合い、かかわって自らの可能性を發揮し、他者と協働しながらよりよい社会を切り開き未来のつくり手となるために必要な

力が求められております。それには自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力、いわゆる確かな学力、自らを律しつつ他人と協調し他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、いわゆる豊かな心、たくましく生きるための健康や体力、いわゆるすこやかな体の3つの力を備えた生きる力を育てていくことが重視されております。特に本市においてはより具体的に常陸太田市の子どもたちに育てたい力として次の5つの力を掲げています。

当たり前のことが当たり前でできる力、自分を大切に未来を描く力、頑張ってもやり抜く力、コミュニケーション力、他者と協働しつくり出す力、各学校においてこれらの力を身につける取り組みを通し将来への夢と郷土への愛着や誇りを持ち、健やかにそして心豊かにたくましく育てていくよう子どもたちの成長を支えていく取り組みをしているところです。

次に、体験活動の充実をどのように図っていくかについてお答えいたします。

子どもたちは自然や歴史にふれあい、友達と協力しながら、見て、触れて、感じて、考えて行動することで子どもたちの中から学びが生まれると同時に、生きる力の礎とも言うべき生命を尊重する心や、他者への思いやりなど、豊かな人間性も一緒に育まれます。このように、体験活動は子どもたちの生きる力を確かなものとし、成長にとっては欠かせないものであり重要な役割を担っております。

学校における体験活動としては、学校の教育活動全般において行われておりますが、特に職場見学や職場体験等を実施し、子どもたちが実社会と触れ合う場を設けております。卒業生や保護者に協力を依頼し、働くことの意義や楽しさを語ってもらうことで自分の生き方や進路について見詰め直す機会としております。

一方、生涯学習課で昨年度から実施しているふるさと愛育推進事業、夢塾では地域の自然や文化、先人の知恵や技術等を学び体験を通して子どもたちの自主性や自立性を育てています。昨年度参加した子どもたちから、火おこし体験をして昔の人の大変さがわかった。そば打ちをして自分でつくったそばはおいしかった。常陸太田にはすばらしいところがたくさんあるなどの感想が寄せられております。

また、エコミュージアム活動やかなさ笑楽校などでは川での魚のつかみ取りなどをはじめ、自然探索など今の子どもたちにとって不足している生活体験や自然体験ができる場を提供するなど、体験活動の充実を努めているところであります。

市教育委員会としましてはこれからも学校教育と社会教育が連携し、地域の文化や自然、先人たちの知恵など地域の宝を活用しながら体験活動の充実を図り、子どもたちの生きる力の育成に努めてまいります。

○成井小太郎議長 川又議員。

〔14番 川又照雄議員 質問者席へ〕

○14番（川又照雄議員） ご答弁ありがとうございました。

最初の質問であります道の駅ひたちおおたについて、1点目の答弁の中からやっぱり感じますけれども、目標が大事だろうと思います。今後道の駅の年間利用者数、年間100万人、年間売

上においては10億円を目指すべきだと思いますが、この点についてのご所見をいただきます。

○成井小太郎議長 答弁を求めます。農政部長。

○根本勝則農政部長 ただいまのご質問である年間100万人、売上10億円を目指してはどうかということについてでございますけれども、道の駅といたしましては、これまでそれぞれ取り組んでまいりました売り場等の工夫、それから直売所を中心としました少量多品目野菜、売れ筋野菜等の研究等を重ねながら売り上げの増に向けて取り組んできたところでございます。合わせてコンシェルジュ等の観光案内につきましても、広くPRを図ってきたところでございます。

今後ともこの売り上げ増、それから、利用者増、入込客数の増に向けてこれまでの取り組みを踏まえましてさらに推進してまいりたいと考えております。

○成井小太郎議長 川又議員。

○14番（川又照雄議員） ありがとうございます。この数字はかなり大きな数字を言っているつもりはありません。私も仕事柄この辺の目標は立ててもよろしかろうと思ってます。

次に、2点目の基本コンセプトの検証の中から1点だけどうも納得しない駐車場について。これは、広くて駐車しやすいなんて説明いただきましたけれども、それよりも私もあそこでとまれなくて何度か帰ってきたことがある1人なんで、この駐車場について、これは新たにづくれと言っている話ではなくて、当面は職員、パートさんの駐車スペース、これを道の駅の利用者へ開放すべきと考えておりますけれども、駐車場についてこの点お尋ねをいたします。

○成井小太郎議長 答弁を求めます。農政部長。

○根本勝則農政部長 駐車場の考え方についてお答えいたします。

道の駅の現在駐車場につきましては、普通車208台、大型車14台、身体障害者用の3台を用意してございますけれども、混雑時の対策としましては臨時的に大型駐車場スペースを小型車両駐車場に振りかえるなど工夫をして対応しているところでございます。駐車スペースについては、常に不足している状況ではないため、駐車場の確保、運営方法については、今後検討させていただきたいと思っております。

○成井小太郎議長 川又議員。

○14番（川又照雄議員） ありがとうございます。やっぱり駐車場って大事なんでよろしくをお願いします。

3の今後の展開にも関係しますけれども、今説明にもありましたトマトハウス、実は私たいへんトマトが好きでしょっちゅう買いに行ってた1人なんですけど、いっつもないんだわ。だから、摘み取りについては理解しました。大分満足させてる。販売のほう、これ約束できますかね。年間、買いに行っても買えるという話ではないけれども、やっぱりもう少し販売できるような見込み、この点どうですかね。物によっては品薄になると言ってもいいけれども、いつ行っても買えない状態ではなくて。その辺の解消はできますかね。

○成井小太郎議長 農政部長。

○根本勝則農政部長 ただいまのトマトハウスについてお答えいたします。

特に昨年度につきましては、猛暑による生育不良により収穫量のほうが減った状況にございま

すので、本年度につきましては、議員がご発言されましたように安定した生産、それから品質、数量の増、品質の向上等を目指しながら栽培管理者と県の農業改良普及センター等と連携を密にしながらその栽培管理の方に努めてまいりたいと考えております。

○成井小太郎議長 川又議員。

○14番（川又照雄議員） ありがとうございます。

次に、今後の展開での生ごみリサイクルの道の駅の生ごみの堆肥化処理機、これも前回から話をしているんですが、堆肥化処理機の導入、これは環境問題あるいは有機農業PRの点で大変大切だと考えておりますが、この計画についてとこのご所見、これについて、生ごみ処理機を伺います。

○成井小太郎議長 答弁を求めます。農政部長。

○根本勝則農政部長 ただいまの生ごみの処理についてのご質問にお答えいたします。

生ごみ処理につきましては、道の駅についてはかなり多くの量が出ておるところでございますけれども、環境問題等もあり、今後のその処理問題等については、今後の検討課題とさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○成井小太郎議長 川又議員。

○14番（川又照雄議員） ありがとうございます。期待しています。

それから、最後になりますけれども、もう既に暑いんですけれども、この前オープンしたらいらく保育園でミストシャワー、こんなにも涼しいのかという感じを体感してまいりました。このミストシャワーの設置は、今後の展開の中でお聞きしたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

○成井小太郎議長 答弁を求めます。農政部長。

○根本勝則農政部長 ただいまのご質問のミストシャワーの導入等についてでございますけれども、昨年は夏の猛暑で尋常じゃないような暑さでございましたけれども、夏のおもてなしとしましては、ただいまご提案がありましたミストシャワーについて道の駅のご利用されるお客様のサービスの方を考えますと有効な方策の1つと思っております。ですので、その他にも子どもプールの設置、ミニ子どもプールの設置なども含めましてこの夏、暑い夏に向けて検討してまいりたいと考えております。

○成井小太郎議長 川又議員。

○14番（川又照雄議員） ありがとうございます。まさに前の藤田議員もおっしゃるとおり県北の重要な道の駅になりつつあります。もう後退はありません。前進あるのみです。ご期待を申し上げ、これからも道の駅ひたちおおたの応援団の1人として協力もしてまいりたいと思っております。

次の防犯カメラ、これを取り上げたいきさつ、これは今年の申告時に起きた金砂郷支所の当て逃げでありました。今の答弁聞きましたけれども、金砂郷支所は夜間に防犯カメラが使われたという話でありますから、当然申告時は昼間ですよ。だから日中も含めた、これからやっぱり防犯カメラの大切さ、これは設置後の検証だろうと思っております。金砂郷支所の件もありますけれ

ども、これも含めてしっかり検証してほしいということを要望しておきます。

最後の質問。「郷土を愛し未来を拓くひとづくり」、これは地方創生のキーワードでもあります。5年、10年そして20年先を見据えた常陸太田市のためにも教育長を先頭に夢育の推進、よろしく願いを申し上げます。

私も変化の激しいこれからの社会を生きるためにも確かな学力，豊かな心，健やかな体の知・徳・体をバランスよく育てることはとても大切であると思っております。ご期待申し上げ、以上で私の一般質問を終わります。ありがとうございました。